



小金井 2012.12/1 No.416 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

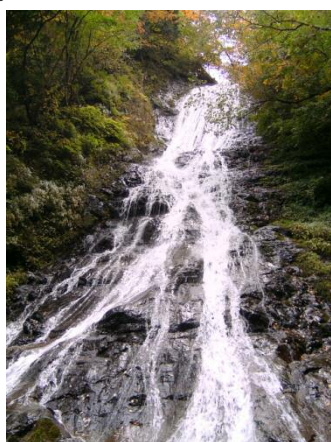
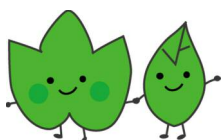
公民館は、
学びたい！
を叶えてくれる私の大学。
いつでも迎えてくれる
私のオアシス

成人学校「滝めぐり」実施報告

貫井南分館

10月26日(金)、貫井南分館では成人学校「滝めぐり」を開催しました。毎年行われているこの講座では様々な滝や渓谷へ足を運んでいます。

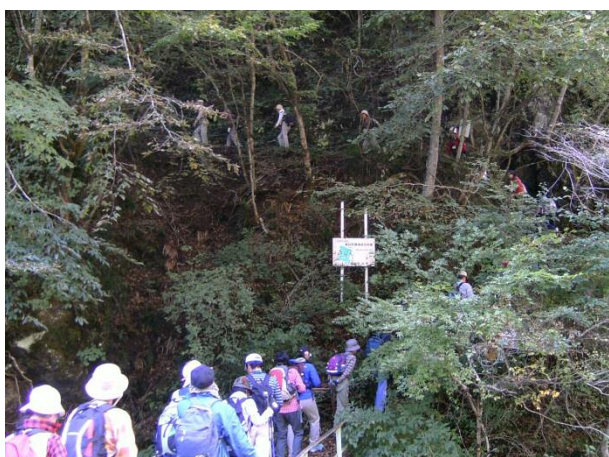
今年はマイクロバスで埼玉県にある秩父郡小鹿野町と秩父郡皆野町に向かい、森林研究家の井上博さんと共に山道を散策しながら滝を目指しました。



丸神の滝

トラックとすれ違いながら細い山道を進むと大きな採石場の脇をとおります。岩肌を削られ圧巻な山を見ながら更に進むと丸神の滝の入口へ到着。

入口を流れる沢の音に見送られ、蛇行する様に山道をふうふうと息を切らせながら登ってきました。



20分ほど登山道を登って行くと木々の間からゴウゴウと水の落ちる音がします。お目当ての丸神の滝です。

丸神の滝は全長76メートルに及ぶ3段からなる滝で埼玉県唯一、日本の滝百選に選ばれている名瀑布です。

流れる水も多く、近くに寄ると水しぶきを浴びてしまうほど、圧巻な滝を見学することができました。



マイナスイオンをたっぷり浴びながら昼食を摂った後は、沢を沿うような道を足取り軽く下山しました。

秩父華厳の滝

日野沢三滝の一つである秩父華厳の滝はその名の通り日光にある華厳の滝に似ている事から名が付きしました。

滝の長さは約15メートル、直瀑の滝です。

秩父赤土の岸壁に囲まれた滝は触れそうなほど近くまで寄って見ることができます。

紅葉は準備段階にやっと入ったのか、滝周辺はまだ青々とした木々が多く見られ秋を満喫……とまではいかないうでしたが、参加者の方々には普段自ら足を運ぶことの少ないところへ来ることができて良い機会だったと言ってもらえることができました。



「月刊こうみんかん」

市民編集員の募集のお知らせ

公民館では、事業の企画や情報の発進を市民参加で実施しています。

「月刊こうみんかん」の編集会議は、現在、市民編集員4名、職員6名の、9名で行っています。

- まちの話題を誌面づくりに反映してほしい！
- インタビューや紙面づくりが大好き！
- このまちのことが知りたい！
- よくわからないけど、なんだか楽しそう！

皆様の参加をお待ちしています。
詳細は公民館本館（☎042-383-1184）まで。

成人学校「初めての手話」報告 本町分館

東日本大震災の発生により、手話の必要性が再認識される中、少しでも聴覚に障害がある方の手助けになればと思い、初心者向けの手話講座を10・11月に全6回で開催しました。講師は、市内の聴覚障害者協会と登録手話通訳者協会から一人ずつ、ろう者の先生と通訳の方のペアでご講義いただきました。

初級編の手話ということで、挨拶や自己紹介を中心に進めていきました。手話の意味を知ると覚えやすく、思っていたよりも受講生の皆さんの覚えが早かったです。

手話は、本に書いてあるマニュアルとおりの手話を覚えれば通じると考えていましたが、ろう者によってニュアンスが違うことが驚きでした。話し言葉と同じで、育った環境や年代によって違いがあります。なので、たくさんのろう者の方と会話をする必要があるということでした。また、生活や実体験等のお話もたくさん聞くことができ、ろう者の方々への理解が深まり、手助けするためのヒントも沢山いただきました。



ろう者の先生に共通するのは、表情の豊かさ。声に出せない分、表情を交えた手話で会話をします。そのせいか、受講生の皆さんも講座が終わるころには表情の硬さも取れていたようでした。今後も手話の勉強を続けたいという意欲を持っていただけたので、良かったと思います。

公民館運営審議会 近況

前号でもお伝えしましたが「青少年のための科学の祭典」では公運審は、「昔遊びの科学」をテーマに出展しました。公民館での子ども関係事業を知っていただくきっかけともなりました。

さて、(仮称)貫井北町地域センターは、いよいよ年明けから工事が始まる予定です。

この時期に、館長からは、新公民館の運営についての諮問がありました。

全庁的に「市民協働」が模索される中、公民館事業にどう取り入れることが出来るのか。

また、市民要望で採用された「若者コーナー」の在り方は……これから検討が始まります。

募集

公民館研究大会報告会の実施 本館

第50回公民館研究大会小金井報告会に ご参加を

12月9日に、東村山市中央公民館で第50回東京都公民館研究大会が開会されます。

午前中の基調講演は、東北大学大学院教育研究科准教授の石井山竜平さんをお招きして、「公民館は地域の絆！」と題した講演をお聞きします。午後の課題別集会は、「3.11 東日本大震災以後の公民館の役割～地域・きずな～」、「公民館との出会いから地域の活動へ」、「公民館はじめの一步」です。

小金井市公民館では、毎年大会を振り返り今後の公民館活動に活かすための報告会を開催しています。

研究大会の成果を今後の事業にどう活かしていくのがテーマです。

研究大会に参加された方も、参加できなかった方もお待ちしております。

日時 12月18日(火) 午後1時～3時

場所 本館学習室A B

問合せ 公民館本館 (☎042-383-1184)

心に残った一冊

「捨てない贅沢～東京の里山出発 暮らししシビ」 アズマカナコ著 けやき出版

「懐かしくて新しい」そんなことばがぴったりのメニューと智慧にあふれているのが、この本の魅力です。

懐かしいと感じるのは、母や祖父母が当たり前こんな暮らしをしていたことを思い出すからでしょうか。

炒ったかぼちやの種、干し柿、ゆずを絞ったぼん酢、ふきの葉の煮物――。

こうしたものを忘れて、私たちは何かを「捨てた」のかも知れません。ほんのわずかの間に。



私の見つけた「こんどやってみよ！」は、ゆずの種の化粧水。とうもろこしの芯のスープは来年の夏の楽しみに。

「懐かしい」と「新しい」は家庭や地方によっても違いますが、「捨てる」「捨てない」どちらを贅沢と思うかは、私たちが選んでいけること。

この本で出会う「新しい」贅沢が何かを思い出させてくれそうな気がします。

箕輪裕美子さん(中町在住)



募集

市民講座 「元気な歌声で小金井を 明るくしよう(その2)」本町分館

懐かしの歌声喫茶で一緒に歌いましょう。



- と き 12月20日(木) 午前10時～正午
 ところ 公民館本町分館
 講師 ささいはるみさん(歌唱指導)
 神野和博さん(アコーディオン奏者)
 対象 市内在住・在勤・在学の方
 定員 30人(申込順)
 参加費 350円(コーヒー・ケーキ代)
 申込 12月3日から電話または直接、公民館本町分館
 (☎042-383-1170)へ。



音楽鑑賞のつどい 「Afternoon Concert」報告 緑分館

11月11日(日)午後2時から、緑分館レクリエーション室で開催しました。



出演者は市内在住の宮下要さん(ヴァイオリニスト)と角田恭子さん(ピアニスト)です。テンポ・ディ・メヌエット、家路、ユーモレスク、タイスの瞑想曲、夜想曲変ホ長調、チゴイネルワイゼン等、アンコールを含め全11曲、曲に関するエピソードを交えながら演奏していただきました。

「小金井市内に著名な名演奏家のいることは大きな誇りです。公民館の無料で鑑賞できる企画は、大変良いことです。この鑑賞を機会に、ヴァイオリンの名曲に一層の興味を持つようになりました。」

「ヴァイオリンとピアノの音がこんなに柔らかく心の中に入ってくるとは驚きです。どの曲も耳にしたことがあります。緑センターでの生演奏は格別です。曲の間の説明がとても楽しく(私は国外に出たことがないので)世界のお話しが聞けて、これまたうれしく、もっと聞いてみたいです。」などの感想がありました。

80人を超える参加者は宮下さんと角田さんの息の合った演奏を楽しみました。

緑分館では1/27(日)にピアニスト・声楽家の清水智子さんをお迎えして「みどりニューイヤーコンサート」を開催します。詳細は市報1月1日号に掲載します。また素晴らしい音楽を楽しみましょう!!



第472回 市民映画会

はな 「涙をたらした神」

(1978年・神山征二郎監督・80分)

原作は、吉野せいの同名の作品。
福島県の開拓農民として、貧しさに耐えて生き抜いた一人の女の足跡を描いた傑作である。

昭和50年に、第6回大宅荘一ノンフィクション賞他文学賞を受賞。映画の脚本は、新藤兼人が手がけた。

出演：檜山文枝、乙羽信子、風間杜夫 他

- と き 12月15日(土)
 ① 午前10時30分～
 ② 午後3時30分～

ところ 公民館本館(福祉会館4階)

入場 無料 当日直接会場で先着70人
いずれも30分前開場

問合せ先 公民館本館(☎042-383-1184)

◆ 12月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

ITサポートは、(16日は、本町分館・貫井南分館は休み 26日、30日は休み)各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆にほんごで国際交流 市報12月1日号に詳細	☆市民講座 「元気な歌声で小金井を 明るくしよう(その2)」 市報12月1日号に詳細			

サークル紹介

「小金井アトムズ 少年野球クラブ」

アトムズは、小金井市立東小学校の生徒を母体として、現在6年生が4名、5年生が12名、3年生が6名、2年生が3名、1年生が6名、合計43名の団員と父母会と指導者会とで運営をしており、日曜日・祝日と第2・第4の土曜日に活動しております。

練習前には、アトムズのスローガンを全員で唱和し、礼儀の大切さや、野球に取り組む姿勢を確認しています。

スローガン

元気よくあいさつをしよう。

頑張る心と思いやる気持ちを持とう。

このスローガンには、野球に関わっている期間だけではなく、大人になってもこの気持ちを持ち続けてもらいたいと思いが入っております。



公式試合は、春季・夏季・市民体育祭・秋季があり、特に春季と夏季大会は小金井で勝ち上がりますと上部大会に参加できるので、6年生はこの大会を目標に練習に励んでいます。

5月のゴールデンウィークには、毎年あきる野で2泊3日の合宿をしており、最終日の100本ノックは恒例となっており、また3日間は下級生から上級生徒までが生活班で行動しますので、子供たちの中で仲間意識が育まれているようです。この合宿は卒団生の思い出の一つとなっております。

最近では、少子化の影響で学年別でチームを作る事が難しくなっており、募集には大変苦労しております。

その中でもお母さん方のネットワークで勧誘してもらうのが、一番効果があるようです。我々指導者は、このように苦労して入団された団員だからこそ卒団するまで野球が続けられるよう内面にもバックアップしております。

おかげ様で小金井アトムズは今年で30周年を迎える事ができました。これからも、地域に根差し、技術面と健全育成に力を注ぎ邁進していきますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

小金井アトムズ少年野球クラブ代表 岩田 寛

地域を歩く

「災害時行動マニュアル」を作成 前原町四丁目町会自主防災会

前原四丁目町会には、以前より自主防災会の組織を作り、活動すべき内容の規約を定めてあります。

平常時における活動(防災知識の普及・啓発、安全点検、防災訓練等)、災害時における活動(情報の収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導等)を行う事となっていますが、災害時における具体的な行動マニュアルが有りませんでした。その為、昨年の3・11東日本大震災時に組織としての活動が出来ませんでした。

災害時にどのような状況になったら組織を立ち上げるのか、どの様にして情報の収集・伝達を行うのか、具体的な指針が無ければ活動する事が出来ません。又、活動するにも個人の力では何も出来ません。

町会には地区、部、班という組織があります。その組織を活用する事により、災害時の「共助」が出来ると考えました。

約1年を掛けまして「災害時行動マニュアル」を作成しました。その内容は、対策本部の立ち上げ条件、情報連絡・初期消火・救出救護・避難誘導等の活動に関しまして、班員、班長、部長、本部の役割について、具体的に行動を定めました。

このマニュアルを町会の班長、部長全員に説明する必要があるために、9月10日に4回に分けて説明会を実施しましたところ、85%の方に参加して戴きまして、賛同を得る事が出来ました。

まだ、細部の詰めをしなければなりませんので、引き続き検討をしています。

前原四丁目町会自主防災会 保科 繁

編集後記

師走に入り街中でクリスマスのイルミネーションが灯って大人でも心なしかウキウキします。

今年1年を振り返って、昨年の東日本大震災からもうすぐ2年が経ちますが、復興にはまだまだ時間がかかりそうな気がします。

一方で昨年は中止された祭り、イベントも各地で開催され、またロンドンオリンピックでは日本選手のメダルラッシュの活躍がありました。最近では京都大学の山中伸弥さんがノーベル医学生理学賞の受賞が決定される等、明るい話題がありました。新年はさらに明るい話題があることを期待したいと思います。(T)